

1.はじめに

2. 埼玉県内で生息が確認された市町村

3. 埼玉県内で確認されている繁殖地点

凡例

- 生息確認
- 繁殖確認

- 7 -



図2 和光市内でイソヒヨドリを目撃した地点

にさいたま市大宮区、2023年に越谷市で確認されている（図1）。

4. 和光市内で確認されている繁殖地点

和光市内では2019年に丸山台1-9-3の大型スーパーの立体駐車場、2021年に新倉5-7-5の物流センターで繁殖が確認されている（川内2021）

5. 和光市内で目撃した地点

筆者が2022年から2024年にイソヒヨドリを目撃した地点は以下の8箇所である（図2）。

- ① 2022年 丸山台1丁目2-1付近（雄個体）
- ② 2023年 丸山台1丁目1-2付近（雌個体）
- ③ 2023年 丸山台1丁目10-15付近（雄個体）
- ④ 2023年 丸山台1丁目10-20付近（雌個体）
- ⑤ 2023年 丸山台1丁目9-3付近（雄個体）
- ⑥ 2023年 和光市本町5-2（雄個体）
- ⑦ 2023年 和光市本町13-64（雄個体）（写真1）
- ⑧ 2024年 和光市新倉5-7-5（雄個体）（写真2）

6. まとめ

2024年は和光市駅周辺でイソヒヨドリを目撃していないが、物流センター周辺では4月と5月に目撃している。確認はできていないが、繁殖している可能性は十分に考えられる。

イソヒヨドリの内陸進出の理由の1つとして考えられているのが、『岩場から人工物へと営巣地を広げた』である。緑地がある程度残っている都市部は餌となる地上性の生物の確保が容易であり、イソヒヨドリが好んで営巣する高さのある建造物が立地している。和光市内は開発により高層の建造物が増えているが、緑地が

残されており、イソヒヨドリが子育てをするのに好環境なのかもしれない。

【参考文献】

- 川内博・川内桂子 2021「埼玉県和光市におけるイソヒヨドリの生息・繁殖状況」『URBAN BIRDS』38 都市鳥研究会
- 川内博 2021「特集・首都圏のイソヒヨドリの今・その2 繁殖記録を中心として」『都市鳥ニュース』No.31 都市鳥研究会
- 細川章司・唐沢孝一 2023「埼玉県越谷市におけるイソヒヨドリ初繁殖の記録」『URBAN BIRDS』40 都市鳥研究会



写真1

(和光市本町 13-64 2023 年 10 月 5 日筆者撮影)



写真2

(和光市新倉 5-7-5 2024 年 4 月 27 日筆者撮影)

さかぐち ゆかり (和光市教育委員会)